

## 令和5年度第2回沖縄県公立大学法人沖縄県立芸術大学評価委員会 議事概要

### 1 開催日時

令和5年9月1日（木）09:30～11:30

### 2 開催場所

公立大学法人沖縄県立芸術大学当蔵キャンパス管理棟2階第1・2会議室

### 3 出席者等

（出席）

石田 むつみ 委員（日本公認会計士協会沖縄会会員（石田むつみ公認会計士事務所））

金城 真次 委員（公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団芸術監督）

砂川 昌範 委員（公立大学法人名桜大学学長）

西村 貞雄 委員（琉球大学名誉教授）

福地 敬 委員（一般財団法人沖縄美ら島財団事務局長）

以上 委員5名中5名出席

（事務局）

沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課

### 4 会議次第

- （1） 開会
- （2） あいさつ
- （3） 審議

【議題】 令和4年度公立大学法人沖縄県立芸術大学業務実績評価について

- （4） 閉会

## 5 議事の要旨

### 〔事務局〕

#### ■定足数の確認

#### ■会議の公開・非公開

委員長から、沖縄県公立大学法人沖縄県立芸術大学評価委員会運営要綱第3条の規定に基づき、公開することにより公正かつ円滑な審議等が著しく阻害され会議の目的が達成できなくなると認められるため、会議を非公開とすることとし、出席委員全員  
の賛同を得た。

### 【審議事項について】

#### ■業務実績報告書について追加質疑を行った。その後、令和4年度公立大学法人沖縄県立芸術大学業務実績評価について、公立大学法人沖縄県立芸術大学から意見を聴取し、質疑応答を行った。

- 教学 IR 体制の整備に関して、ディプロマポリシーの客観的な評価も含め、これからのように取り組むのか方針を聞きたい。
- シラバスの記載内容は、科目とディプロマポリシーとの関係性について記入することの指導等はしているか。
- ループリック評価の対象科目について大学のマネジメントがあるか。
- 演奏会や展示会、オープンキャンパスなど、いろいろな行事をされているが、国立劇場おきなわには劇場主催公演以外のチラシを置くスペースもあるので、チラシの提供等があれば、広報に協力ができるので、ご検討いただきたい。
- 紙媒体のパンフレットやポスターを制作した際に、その素材を活用して、費用をかけずに SNS による広報を行うことは可能か。
- 学生が SNS を利用する際に、大学から何か制限があるか。
- ホームページ等のアクセス数に関して、今の若い人たちは SNS での情報収集等を行うので、今後は SNS のアクセス数も反映していく必要があるのではないか。
- 近隣の大学でも志願者の確保について苦慮しているという話を聞いた。大学としての広報のあり方、高校生に向けたアピールなどについて意見交換をしてはどうか。
- デザイン思考を育てるプログラムは、芸大の強みになる。会社や組織の中で、それを応用できるような、リカレント教育、リスキリングを構築してはどうか。
- 経営者層に、社会人になって改めてデザイン思考や色彩学を勉強してそれをビジネスに活かす、或いは人生を豊かにするために使いたいという方が結構いる。制限がないのであれば、積極的に検討してはどうか。
- 収支をどう持っていくか、余剰金を作ってそれを将来のためにどう投資していくのかということを考えて、教育というビジネスだと思って経営してもらいたい。

**【評価案に対する意見】**

○法人からのコメント（要約）

- ・評価結果に関しては、大学の自己評価に沿った評価となっており、特段意見はない。
- ・広報については、学外への戦略的な情報発信というのは、今後の生命線だと思っており、早急に改善していく。

■質疑応答の後、公立大学法人沖縄県立芸術大学の関係者は退出し、全体評価の審議に入った。事務局より項目別評価案の前回からの修正内容及び全体評価案について説明を行ったところ、以下の意見が出された。

○ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーの一貫性の部分を修正しているが、事務局でカリキュラムマップにディプロマポリシーが位置付けられていることは確認しているか。

○剰余金は学生のために使っていただきたいと思っているが、将来の学生を含めて学生のために使うということであれば、大学の判断で使うことも可能なのか。

（委員長）

○評価案について、本日のご意見を踏まえた修正・追記は、委員長及び事務局に一任いただき、概ね了承してよいか。

（委員全員）

○異議なし

**【閉会】**